

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業		001011	三和地域協議会支援事業						
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度		担当部名	地域振興部			
基本理念	11	市民協働の推進			担当課	三和支所			
基本方針	02	市民主体のまちづくり活動を支援する			新規継続区分	新規事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし								
構成予算事業		会計		款		項		目	
130202	三和地域協議会支援事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
	直接実施								
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
	補助金 (補助先: 三和地域協議会)								
事務事業の意図	(どのような状態にしたいか) 限界集落、公共交通、福祉など地域の諸問題の解決に向け住民自ら地域の主体となり、「住み続けられるみわ」を実現するための取り組みを支援するとともに、市における地域自治のモデルとなる取り組みをめざす。								
対象	(誰・何を対象に) 地域住民								
事業内容	(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください) 中学校区単位の計画策定に基づき、地域住民のニーズに沿った決め細やかな事業展開をめざすため実施してきた三和地域でのモデル事業について、地域住民が、主体性、透明性、地域代表制をもつ地域協議会として運営していくための支援を行なうため交付金事業を実施する。								
関連事業	(同一目的事業等)								
コスト	A	負担金補助及び交付金	千円	12,310	12,310	0	0		
		報酬	千円	0	0	0	0		
		給料	千円	0	0	0	0		
		職員手当等	千円	0	0	0	0		
		共済費	千円	0	0	0	0		
		災害補償費	千円	0	0	0	0		
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0		
		賃金	千円	0	0	0	0		
		報償費	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
	小計	千円	12,310	12,310	0	0			
	B	人件費	千円	0	1,222	0	0		
	総事業費(A+B)	千円	12,310	13,532	0	0			
財源内訳	国支出金	千円	6,155	0	0	0			
	府支出金	千円	0	0	0	0			
	国・府支出金コメント								
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他特財	千円	0	0	0	0			
地方債・その他特財コメント									
一般財源	千円	6,155	13,532	0	0				

計画事業評価表

計画事業		001011 三和地域協議会支援事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	三和地域協議会の開催回数(専門部会)	回	30			
実績			33			
単位コスト			373.030			
三和地域協議会の開催回数(常任委員会)		12	12			
実績			13			
単位コスト			946.923			
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
シンポジウム、講演会参加者数(講座含む)	人	200				
実績			230			
広報誌の発行(隔月発行)	回	6				
実績			6			
目標						
実績						

事項	担当課評価																																	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	第4次後期総合計画の施策として、新たな協働の仕組みにより地域力を再生・強化するとして位置付けており、基本的な方向としても「自助・協働・公助」が機能し、時代の変化に対応する持続的可能な地域運営の新たな仕組みについて検討していくと示されているため、その取り組みを地域が具体的に進めていく上においても重要な事業である。																																	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	過疎化、少子高齢化の進む中、地域住民が主体となり、地域の活性化、限界集落、公共交通、地域移住定住促進などに取り組む事業として有効である。																																	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	「みわを元気」にする様々な事業や移住定住に向けた取り組みなど、限られた事業費の中で、協議会が主体的に取り組む、会員相互の協力のもと効率的・効果的な事業展開が行われている。																																	
コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																	
事務事業の方向性の組み合わせ	A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 4月に地域住民の新しい仕組みとして、福知山市では初めてとなる住民組織「三和地域協議会」が設立。中学校単位の計画策定事業に基づき、地域住民のニーズに沿ったきめ細やかな事業に取り組んできた。今後は、定住促進や雇用創出に向けた更なる取り組み、特に買い物弱者などに対する支援なども課題の一つであり、地域の人々が集える拠点施設を充実させ、地域の拠点と周辺地域をつなぐ公共交通ネットワークのあり方等の検討等、さらなる取り組みが求められている。																																	
<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000136	三和支所施設管理事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度			担当部名	地域振興部			
基本理念	21	質の高い行政サービスの提供				担当課	三和支所			
基本方針	05	その他				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	H28棚卸し（非公開）			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
810441	三和支所施設管理事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	05	財産管理費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			（委託先又は指定管理者：）							
補助金			（補助先：）							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			旧三和町及び近隣の住民に対するサービスの拠点施設の管理運営を図る。							
対象 (誰・何を対象に)			市民・職員							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			三和支所庁舎及び公用車両の管理経費の計上 旅費 (21,980円) 需用費 消耗品費(106,934円)・燃料費(866,345円)・光熱水費(4,258,842円) 修繕料(1,950,608円) 役務費(315,259円)...公用車車検整備、公用車損害賠償保険料等 委託料(2,796,786円)...各種施設設備保守点検業務等 使用料及び賃借料(128,313円)...電話交換機及び公用車リース料 負担金補助及び交付金(41,030円)...安全運転管理者講習 公課費(21,000円)...公用車重量税							
関連事業 (同一目的事業等)			三和支所一般管理事業・三和支所文書管理事業							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	7,600	7,183	7,294	6,710
		委託料	千円	2,945	2,797	3,072	2,823
		役務費	千円	260	315	315	373
		使用料及び賃借料	千円	135	128	133	0
		負担金補助及び交付金	千円	5	41	4	9
		旅費	千円	0	22	0	0
		公課費	千円	61	21	69	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	137	1,828
	小計	千円	11,006	10,507	11,024	11,743	
	B	人件費	千円	0	5,149	4,349	3,310
	総事業費(A+B)	千円	11,006	15,656	15,373	15,053	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	50	52	52	27	
	地方債・その他特財 コメント						
	一般財源	千円	10,956	15,604	15,321	15,026	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000136 三和支所施設管理事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	支所維持管理経費	円	11,006,000	10,712,000	10,983,000	10,993,000
	実績		10,507,097	11,023,744	11,742,256	
	単位コスト					
活動実績	在勤者数	人	21	22	22	22
	実績		21	22	22	
	単位コスト		524.095	477.591	501.091	533.773
	目標					
	実績					
	単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
支所利用者数(窓口)	目標	人	15,000	15,000	15,000	15,000
	実績			14,047	12,994	12,870
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		住民に対するサービスの拠点施設として管理運営を継続する。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		身近な行政サービスの拠点として有効である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		支所の機械設備等が老朽化しており、施設そのものに係る経費が増幅傾向にあるが、コストダウンに努め効率的な維持管理を行っている。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 住民に対するサービスの拠点施設として管理運営を継続する。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000139	三和支所一般管理事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度			担当部名	地域振興部			
基本理念	21	質の高い行政サービスの提供				担当課	三和支所			
基本方針	05	その他				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
810437	三和支所一般管理事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	01	一般管理費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者 :)							
補助金			(補助先 :)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			事務を適正に遂行し、住民サービスの向上を図る。							
対象 (誰・何を対象に)			市民・職員							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			三和支所における事務の一般的な事務経費を計上。 賃金(7,249,278円)...宿直、日直 旅費(3,900円) 需用費(33,566円) 役務費(電話代 588,301円) 使用料及び賃借料(27,357円)...NHK放送受信料 積立金(30,000円)...ふるさと創生事業基金(私のふるさと地域振興文化伝承寄附金 三和支所分)							
関連事業 (同一目的事業等)			三和支所施設管理事業・三和支所文書管理事業							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	賃金	千円	4,752	7,249	6,671	5,969
	役務費	千円	540	588	823	534
	需用費	千円	8	34	0	10
	積立金	千円	200	30	50	0
	使用料及び賃借料	千円	22	27	22	0
	旅費	千円	5	4	14	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	41
小計	千円	5,527	7,932	7,580	6,554	
B	人件費	千円	0	27,055	5,200	4,633
総事業費(A+B)		千円	5,527	34,987	12,780	11,187
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	400	100	50	0
地方債・その他特財 コメント						
一般財源	千円	5,127	34,887	12,730	11,187	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000139 三和支所一般管理事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		支所一般管理経費	円	5,527,000	5,455,000	5,647,000
			7,932,402	7,580,199	6,553,222	
	単位コスト					
活動実績	在勤者数	目標	21	22	22	22
		実績	21	22	22	22
		単位コスト	263,190	360.545	344.545	297.909
	目標					
	実績					
	単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
成果実績	支所利用者数(窓口)	目標	15,000	15,000	15,000	15,000
		実績		14,047	12,994	12,870
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

事項	担当課評価																																	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	住民に対するサービスの拠点施設として管理運営を継続する。																																	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	身近な行政サービスの拠点として有効である。																																	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	最低限の予算で運営している。賃金を除いた物件費から見ると効率性は高い。																																	
コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																	
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×		皆減	縮小	維持	拡大		コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 支所機能を維持する上で必要最小限の人員費であり、今後も必要である。課題として正職員の縮減により、各係業務に支障をきたしている。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
	皆減	縮小	維持	拡大																														
コスト投入の方向性																																		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000141	三和支所文書管理事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度			担当部名	地域振興部			
基本理念	21	質の高い行政サービスの提供				担当課	三和支所			
基本方針	05	その他				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	H28棚卸し(非公開)			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
810439	三和支所文書管理事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	02	文書広報費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者:)							
補助金			(補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			事務を適正に遂行することで、住民サービスの向上を図る。							
対象 (誰・何を対象に)			市民・職員							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			三和支所の事務用品費、郵送料等の経費の計上 需用費 消耗品費(416,394円)・印刷製本費(46,716円)・修繕料(23,004円) 役務費(郵送料 65,204円) 委託料(415,894円)...コピー機保守管理業務ほか 使用料及び賃借料(88,128円)...コピー機使用料 備品購入費(93,960円)...プリンター購入費							
関連事業 (同一目的事業等)			三和支所施設管理事業・三和支所一般管理事業							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	386	486	504	388
		委託料	千円	480	416	438	396
		備品購入費	千円	0	94	10	0
		使用料及び賃借料	千円	87	88	92	0
		役務費	千円	66	65	64	57
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	144
	小計	千円	1,019	1,149	1,108	985	
財源内訳	B	人件費	千円	0	1,309	1,513	1,513
		総事業費(A+B)	千円	1,019	2,458	2,621	2,498
		国支出金	千円	0	0	0	0
		府支出金	千円	0	0	0	0
		国・府支出金 コメント					
		地方債	千円	0	0	0	0
財源内訳	その他特財	その他特財	千円	200	169	191	131
		地方債・その他特財 コメント					
		一般財源	千円	819	2,289	2,430	2,367

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000141 三和支所文書管理事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		支所に係る文書経費	円	1,019,000	1,211,000	1,297,000
			1,149,300	1,107,594	984,972	
	単位コスト					
活動実績	在勤者数	目標	21	22	22	22
		実績	21	22	22	22
		単位コスト	48.524	52.227	50.364	44.773
	目標					
	実績					
	単位コスト					
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		支所利用者数(窓口)	人	15,000	15,000	15,000
			14,047	12,994	12,870	
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		住民に対するサービスの拠点施設として管理運営を継続する。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		身近な行政サービスの拠点として有効である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		必要最小限の予算で運営しており、事業の効率性は高い。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 必要最小限の予算で運営しており、事業の効率性は高い。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000152	三和支所きめ細かな安心安全事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成23年度	担当部名	地域振興部					
基本理念	21	質の高い行政サービスの提供			担当課	三和支所				
基本方針	05	その他			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計	款	項	目				
510456	三和支所きめ細かな安心安全事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			周辺地域の実情や緊急性を勘案した、きめ細かで迅速な対応により住民満足度の向上を図る。							
対 象 (誰・何を対象に)			三和地域の市民							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			地域や住民生活の安心安全を確保するために、緊急かつ重要な小修繕を支所長の裁量で対応する。 需用費(修繕料 537,840円)							
関連事業 (同一目的事業等)										

コスト	需用費	千円	平成28年度	500	平成27年度	537	平成26年度	538	平成25年度	539
	報酬	千円		0		0		0		0
	給料	千円		0		0		0		0
	職員手当等	千円		0		0		0		0
	共済費	千円		0		0		0		0
	災害補償費	千円		0		0		0		0
	恩給及び退職年金	千円		0		0		0		0
	賃金	千円		0		0		0		0
	報償費	千円		0		0		0		0
	その他	千円		0		0		0		0
小計	千円		500		537		538		539	
B 人件費	千円		0		873		945		850	
総事業費(A+B)	千円		500		1,410		1,483		1,389	
財源内訳	国支出金	千円		0		0		0		0
	府支出金	千円		0		0		0		0
	国・府支出金コメント									
	地方債	千円		0		0		0		0
	その他特財	千円		0		0		0		0
地方債・その他特財コメント										
一般財源	千円		500		1,410		1,483		1,389	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000152 三和支所きめ細かな安心安全事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績	実施件数	目標	4	4	4	4
		実績		3	4	4
		単位コスト		179.000	134.500	134.750
		目標				
		実績				
		単位コスト				
		目標				
		実績				
		単位コスト				
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	実施事業費	目標	500,000	500,000	500,000	500,000
		実績		537,840	537,840	538,650
		目標				
		実績				
		目標				
		実績				

事項	担当課評価																																	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	緊急対応を要するものについて、支所長裁量で執行できることは、本事業の妥当性、必要性は高い。また、市民ニーズにも対応できるものである。																																	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	地域の実情に合わせた対応ができることから有効である。																																	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	支所長裁量によるため、迅速かつきめ細やかな対応ができる。																																	
コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																	
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 平成23年度から開始した事業であり、当面現状維持で進める。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

計画事業評価表

計画事業	001045	三和支所窓口相談事業			
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度	担当部名	地域振興部
基本理念	21	質の高い行政サービスの提供		担当課	三和支所
基本方針	05	その他		新規継続区分	継続事業
施策の大綱				実施計画区分	実施計画以外
施策				自由区分3	H28棚卸し(非公開)
根拠法令					
構成予算事業		会計	款	項	目
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業
	直接実施				
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)				
	補助金 (補助先:)				
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	市民サービスの維持・向上のために、本庁の税務課、市民課、保険課、生活交通課、子育て支援課、社会福祉課、高齢者福祉課、地域福祉課、農業振興課、環境政策室、上下水道部等の窓口業務として、各種証明書の発行、税・使用料の収納、各種届出書の受付及び相談業務を行う。				
対象 (誰・何を対象に)	住民				
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	各種証明書の申請受付及び交付 各種異動届の受付・審査・データ入力・証明書交付及び関係係への連絡・案内 戸籍届出書の受付・審査(本籍地等の他市への確認及び問い合わせ他)・データ入力 税・使用量の収納 各種相談受付				
関連事業 (同一目的事業等)					

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	旅費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	0	0	0
	B 人件費	千円	0	46,341	0	0
	総事業費(A+B)	千円	0	46,341	0	0
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	46,341	0	0

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		001045 三和支所窓口相談事業						
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		窓口事務職員数	目標	人	4	5	5	5
			実績					
			単位コスト					
			目標					
			実績					
	単位コスト							
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		窓口事務来庁者数	目標	人	9000	9000	9000	9000
			実績			9735	8307	7902
			目標					
			実績					
		目標						
	実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		住民に対するサービスの拠点として依然、ニーズは高く継続する。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		身近な行政サービスの拠点として有効である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		範囲の広い業務対応しつつ待ち時間の短縮を図っており、事業の効率性は高い。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		B 改善(事業の進め方等に改善が必要) 業務の範囲が広く、知識の習得が重要課題である。関係部署と連携を密にし、職員間で知識を深め、待ち時間の短縮、ダブルチェックを通し、正確で迅速・親切な対応を行う。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×	○		×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	
	コスト投入の方向性				

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000143	無線放送施設維持管理事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成24年度	担当部名	地域振興部					
基本理念	33	高度情報化の推進		担当課	三和支所					
基本方針	02	情報発信力を高め地域づくりに生かす		新規継続区分	継続事業					
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業					
施策				自由区分3	棚卸し未実施					
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計	款	項	目				
820206	無線放送施設維持管理事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者 :)							
補助金			(補助先 :)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			無線放送の維持を適正に行うことで、防災・行政情報を周知伝達でき、地域住民の安心安全の確保と住民サービスの向上を図る。							
対象 (誰・何を対象に)			市民							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			三和支所管内の防災・行政情報伝達のための無線放送の維持経費を計上。 需用費 修繕料(280,800円) 使用料及び賃借料(13,200円) ...簡易無線局電波利用料 備品購入費(103,600円)							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	需用費	千円	178	281	0	24
	備品購入費	千円	173	104	138	0
	使用料及び賃借料	千円	9	13	210	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	その他	千円	120	0	0	369
小計	千円	480	398	348	393	
B	人件費	千円	0	1,135	1,135	3,593
総事業費(A+B)		千円	480	1,533	1,483	3,986
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	70	66	60	0
地方債・その他特財 コメント						
一般財源		千円	410	1,467	1,423	3,986

計画事業評価表

計画事業		000143 無線放送施設維持管理事業						
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		年間放送件数	目標	件	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績			1,270	1,084	1,206
			単位コスト					
		目標						
			実績					
				単位コスト				
		目標						
			実績					
	単位コスト							
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		放送担当	目標	人	1	1	3	3
実績			1		1	3	3	
目標								
実績								
目標								
実績								

事項		担当課評価				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		防災行政無線としての役割も果たしているため、必要性は高い。				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		外部スピーカー及び受信機を持つ家には、緊急時の放送や行政情報をお知らせすることができるため、有効性も高い。				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		放送に関わる職員の時間が、年々増加傾向にあったため、平成27年度からは、三和地域協議会へ業務を依頼。放送開始から数年を経過し、電波受信も安定してきている。				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)				
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 緊急時の放送や行政情報を地域住民に伝える有効な手段であり、今後も維持管理が必要。草山地域の一部で放送が鮮明に聞こえないため、無線放送設置業者と原因を解明中である。				
成果の方向性	拡充	×				
	維持	×		○	×	
	縮小	×		×	×	
	休廃止		×	×	×	
		皆減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000145	特産品活用による三和地域活性化事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成23年度	担当部名	地域振興部					
基本理念	41	農林水産業の振興			担当課	三和支所				
基本方針	04	1次産品のブランド化・6次産業化等により販売力を高め			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計	款	項	目				
130216	特産品活用による三和地域活性化事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			学校給食センター建設予定跡地で地域特産品の直販を第一歩とし、加工販売、更には都市間交流拠点を段階的に整備することにより農林商工業の活性化を図る。							
対 象 (誰・何を対象に)			近隣及び京阪神の都市住民に三和の特産の農林商工業品をPRして、交流拠点での販売を促進する。							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			地域特産物の直販施設を基本とした地域活性化計画の企画立案を行うため、市民公募により立ち上がった丹波みわ活性化協議会に補助金として交付した。協議会は特産品の開発、出荷体制の組織化、経営主体の形成の3点に取り組んだ。 負担金補助及び交付金(500,000円)							
関連事業 (同一目的事業等)										

コスト	負担金補助及び交付金	千円	500	500	668	727
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
小計	千円	500	500	668	727	
B 人件費	千円	0	1,135	1,702	4,254	
総事業費(A+B)	千円	500	1,635	2,370	4,981	
国支出金	千円	0	0	0	0	
府支出金	千円	0	0	0	0	
国・府支出金コメント						
地方債	千円	0	0	0	0	
その他特財	千円	0	0	0	0	
地方債・その他特財コメント						
一般財源	千円	500	1,635	2,370	4,981	

事業計画額

財源内訳

計画事業評価表

計画事業		000145 特産品活用による三和地域活性化事業							
活動指標名	単位	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
		丹波みわ活性化協議会の開催回数(専門部会)	回	20		20		20	
				14		20		26	
単位コスト									
講師を交えた学習会開催回数(視察含む)	回	1		1		3		3	
				0		7		6	
単位コスト									
目標									
実績									
単位コスト									
成果指標名		平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
協議会、学習会等参加者数(視察含む)	人	20		20		60		50	
				35		55		162	
丹波みわ活性化協議会での検討	基本計画(案)の具現化			基本計画(案)の具現化		基本計画(案)の具現化		基本計画(案)の企画立案	
				トマトジュースの開発		トマトソースの開発		アンテナショップの開	
目標									
実績									

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		第4次後期総合計画にも1次産品のブランド化・6次産業化等により販売力を高める施策として、位置づけており、福知山市三和町のほぼ中心地から発信する重要な事業である。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		福知山市内の農林商工業の活性化を図るための様々な調査は、地域力の結集できる活性化施設を計画するため有効である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		給食センター建設予定跡地を有効に利用するため、交付金を使用し調査・研究を行っている。会員からは会費を徴収し研究にあっている。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		B 改善(事業の進め方等に改善が必要) 地域産品の直販施設を軸とした地域活性化の基本計画の策定を目的として、丹波みわ活性化協議会は特産品となりうる農産加工品の開発とテスト販売に取り組んでおり、平成27年度はトマトジュースの開発とイベント会場やアンテナショップでの販売を行った。直販施設の形態、農産物の安定供給方法、運営に係るコスト等、現実的な基本計画の企画に向けて課題も多く、更なる研究、検討が必要である。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000147	三和ふれあいフェスティバル事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度	担当部名	地域振興部					
基本理念	43	観光の振興		担当課	三和支所					
基本方針	01	地域資源を活性化する		新規継続区分	継続事業					
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業					
施策				自由区分3	棚卸し未実施					
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計	款	項	目				
130312	三和ふれあいフェスティバル事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者 :)							
補助金			(補助先 : 三和ふれあいフェスティバル実行委員会)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			三和地域における子どもから高齢者までの幅広い世代の手づくり最大イベントである。農林産物品評会からスタートし、現在では作品展示、舞台発表、屋外模擬店及び地域の農工商産物の紹介・販売、各種啓発の場となっている。また、三和地域の取組みを外部に発信することにより、地域の振興及び活性化を図ることを目的としている。							
対象 (誰・何を対象に)			実行委員会加盟団体、展示・ステージ・模擬店等参画団体及びイベント来場者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			地元組織・団体等で構成される実行委員会の主催。農林産物品評会、地元のグループ・店等による模擬店、各種団体・学校等による文芸作品展示、文化団体等の舞台発表などを行う。							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	A 恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	旅費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	1,000	45
	小計	千円	0	0	1,000	45
B	人件費	千円	0	2,967	4,727	2,080
	総事業費(A+B)	千円	0	2,967	5,727	2,125
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	1,000	45
	地方債・その他特財 コメント					
	一般財源	千円	0	2,967	4,727	2,080

計画事業評価表

計画事業		000147	三和ふれあいフェスティバル事業					
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		実行委員会開催回数(役員会等部会を含む)	目標	回	12	14	12	10
			実績			15	17	14
			単位コスト					
		チラシの枚数	目標	枚	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績			2,000	2000	0
			単位コスト					
		単位当たりコスト:総事業費/参加者数	目標	円				
			実績					
			単位コスト				1,578	
事業実績と成果	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		参加者数	目標	人	5,000	5,000	5,000	4,000
			実績			4,500	3,630	0
		ステージ等発表・屋外会場参加・文芸作品等	目標	団体	55	60	60	60
			実績			50	57	0
		目標						
		実績						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		文化やまちおこし等市の個性、魅力を継承していく場として必要である。子どもから高齢者まで幅広い世代の手づくりのイベントとして重要なものである。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		特に周辺部である三和地域の活性化には大きな影響をもたらすイベントである。次世代への地元文化等の継承や人材育成に有効なイベントである。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		地元の資源を活用した効率的な手づくりイベントである。平成27年度から実行委員会の事務局を三和地域協議会に移管し、実質的に行政主導で運営してきたイベントを地元主体となるようシフトしてきている。市補助金も三和地域協議会への交付金に一元化している。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		B 改善(事業の進め方等に改善が必要)			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					
		実行委員会事務局をまだ行政(市支所)が担っていた数年前から、実行委員のメンバー自身が行政に完全に頼るのではなく、徐々に主体的に取り組む考えに変わってきていた。平成27年度に事務局が三和地域協議会に移管してからは、さらに自主的に企画・実施しようとする姿勢が進んでいる。ただ、人材、運搬車両等の確保など、行政の協力が不可欠であるところもあり、今後の支所との関わりの中で一定の整理も見据えつつ、地域への意識づけ、核となる人材の育成等の課題解決の必要がある。			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000149	三和荘等運営事業																					
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成17年度			担当部名	地域振興部																
基本理念	43	観光の振興				担当課	三和支所																
基本方針	02	観光施設・交流施設を充実する				新規継続区分	継続事業																
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業																
施策						自由区分3	棚卸し未実施																
根拠法令	なし																						
構成予算事業			会計		款		項		目														
130207	三和荘等施設管理運営事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費													
130208	三和荘基幹設備整備改修事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費													
130209	三和荘指定管理委託事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費													
130212	三和荘駐車場兼用ペタンクコート整備事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費													
<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">実施方法</td> <td>国庫補助事業</td> <td>府補助事業</td> <td>市単独事業</td> </tr> <tr> <td colspan="3">直接実施</td> </tr> <tr> <td colspan="3">業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: 特定非営利活動法人丹波・みわ)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">補助金 (補助先:)</td> </tr> </table>											実施方法	国庫補助事業	府補助事業	市単独事業	直接実施			業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: 特定非営利活動法人丹波・みわ)			補助金 (補助先:)		
実施方法	国庫補助事業	府補助事業	市単独事業																				
	直接実施																						
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: 特定非営利活動法人丹波・みわ)																						
	補助金 (補助先:)																						
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	三和荘の運営を公営直営でなく、民間のノウハウを取り入れて、三和地域の中心施設として地域の振興・観光・住民の健康福祉増進等健全な施設運営を図る。指定管理委託をしている三和荘及び関連施設の修繕等を行い、利用者の満足度の向上と集客確保を図る。																						
対象 (誰・何を対象に)	施設利用者																						
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	<p>指定管理施設の運営に関する経費を計上し、指定管理がスムーズに運営されることにより、住民サービスの向上に寄与する。指定管理委託をしている三和荘及び関連施設の修繕を行う。</p> <p>需用費 修繕料(4,759,754円)・・・モニターテレビ、脱衣室床マット貼替え、サウナ室、かけ湯槽、漏水修繕 ボイラー室熱交換器 役務費(160,248円)・・・マイクロバス車検整備手数料、建物総合損害保険料等 委託料(30,301,840円)・・・指定管理委託料、特殊建築物等建築設備定期報告業務 使用料及び賃借料(20,000円)・・・土地・建物借上料 備品購入費(1,084,946円)・・・厨房設備、客室エアコン購入 公課費(37,800円)・・・マイクロバス重量税 工事請負費(594,000)テラス改修</p>																						
関連事業 (同一目的事業等)																							

コスト	A	工事請負費	千円	平成28年度	29,300	平成27年度	31,743	平成26年度	0	平成25年度	0
		委託料	千円	29,956	30,302	30,522	26,315				
		需用費	千円	5,411	4,760	3,284	3,851				
		備品購入費	千円	1,952	1,085	595	0				
		役務費	千円	253	160	148	215				
		公課費	千円	35	38	38	0				
		使用料及び賃借料	千円	20	20	20	0				
		報酬	千円	40	0	5	0				
		給料	千円	0	0	0	0				
		その他	千円	586	0	0	4,340				
小計	千円	67,553	68,108	34,612	34,721						
B	人件費	千円	0	3,316	2,836	4,727					
総事業費(A+B)	千円	67,553	71,424	37,448	39,448						
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0					
	府支出金	千円	0	0	0	0					
	国・府支出金 コメント										
	地方債	千円	29,300	0	3,800	0					
	その他特財	千円	4,550	5,904	2,857	5,833					
地方債・その他特財 コメント											
一般財源	千円	33,703	65,520	30,791	33,615						

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000149 三和荘等運営事業								
活動指標名	単位	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度		
		情報発信（丹波みわの発行等）	回	12		12		12		12
				12		12		12		
単位コスト				5675.667		2884.333		2893.417		
活動実績	単位コスト：総事業費/利用者数	目標								
		実績								
	単位コスト	円								
成果実績	成果指標名	単位	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
			宿泊者数	人	7,000		7,000		10,000	
					6,247		5,608		6,272	
	利用者数	人	目標	150,000		150,000		150,000		150,000
			実績			153,326		145,130		145,188
			目標							
		実績								

事項		担当課評価																					
事業の妥当性・必要性 <small>（市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から）</small>		三和荘は、三和地域の拠点施設であり、円滑な管理運営を進める上で必要な事業である。																					
事業の有効性 <small>（上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から）</small>		三和地域の交流・観光の拠点として、施設の果たす役割は大きい。																					
事業の効率性 <small>（有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から）</small>		「丹波みわ」の発行により、三和地域のPRになっている。また、定期的に発行することにより三和の魅力の情報発信の機関紙として成果をあげている。																					
コストと成果の方向性		事業の評価 （今後の事業の方向性、課題等）																					
事務事業の方向性の組み合わせ		B 改善(事業の進め方等に改善が必要) 指定管理施設の運営に関する経費を計上し、指定管理がスムーズに運営されることにより、住民サービスの充実が図れる。一方で三和荘の経営については、赤字になることのないよう指定管理者の努力が必要である。今後は更に、三和荘駐車場兼用ベタンクコートを整備し、三和荘全体の利用客の増加に結びつける取り組みも必要となる。																					
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>	拡充	×				維持	×	○		×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×		
	拡充	×																					
維持	×	○		×																			
縮小	×		×	×																			
休廃止		×	×	×																			
	皆減 ○縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性																						

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000155 大原地区産屋周辺整備事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成24年度			担当部名	地域振興部	
基本理念	43	観光の振興				担当課	三和支所	
基本方針	02	観光施設・交流施設を充実する				新規継続区分	継続事業	
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業	
施策						自由区分3	棚卸し未実施	
根拠法令	なし							
構成予算事業			会計		款		項	
230246	大原地区産屋周辺整備事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費
							11	地域交流推進費
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
	直接実施							
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
	補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	大原神社前を流れる川合川に歩道橋を架け、文化財の保護と同時に観光資源を安心、安全に周遊できるようにする。							
対象 (誰・何を対象に)	市民等							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	平成24年度～27年度を事業期間とし、基本設計から詳細設計、橋梁工事と周辺整備工事を進めていく。							
関連事業 (同一目的事業等)								

事業計画額	コスト	工事請負費	千円	平成28年度	0	平成27年度	23,717	平成26年度	8,700	平成25年度	0
		委託料	千円	0	200	2,018	7,438				
		旅費	千円	0	104	0	0				
		報酬	千円	0	0	0	0				
		給料	千円	0	0	0	0				
		職員手当等	千円	0	0	0	0				
		共済費	千円	0	0	0	0				
		災害補償費	千円	0	0	0	0				
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	2,840	13				
		小計	千円	0	24,021	13,558	7,451				
		B 人件費	千円	0	3,665	2,742	3,120				
		総事業費(A+B)	千円	0	27,686	16,300	10,571				
		国支出金	千円	0	0	0	0				
府支出金	千円	0	0	0	0						
国・府支出金 コメント											
地方債	千円	0	16,000	14,100	7,400						
その他特財	千円	0	0	0	0						
地方債・その他特財 コメント											
一般財源	千円	0	11,686	2,200	3,171						
財源内訳											

計画事業評価表

計画事業		000155	大原地区産屋周辺整備事業				
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	工事着手	目標		橋梁上部 周辺整備	橋梁下部	橋梁下部工、基礎工	詳細設計
		実績		完了	完了	一部完了（基礎工）	完了
		単位コスト					
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
進捗率	目標		100	95	70	50	
	実績	%		95	70	60	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		現在、各駐車場や国道沿いのロードパークから産屋に行くには、川合川の飛び石を渡るか、歩道のない国道を歩かなければならない。誰でもが安心して周遊でき、文化財を身近に感じてもらうことができるため必要である。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		架橋することで、産屋の地も訪れやすくなるため、地域の活性化にも有効である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		過疎対策債を活用し、周囲の景観に配慮したシンプルな橋を架ける。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		B 改善(事業の進め方等に改善が必要) 当初計画と若干の遅れが生じているが、事業も完了へと近づいており、平成28年度前半で完了する。その後安心安全な周遊経路で、文化財に触れることができることをアピールし、観光客の増加に向けた取り組み等を推し進めていく必要がある。			
成果の方向性	拡充 × ○ × × 維持 × ○ × × 縮小 × × × × 休廃止 × × ×				
	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性				

計画事業評価表

計画事業	000848	菟原下定住促進住宅用地整備事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成26年度	担当部名	地域振興部					
基本理念	62	生活空間の整備		担当課	三和支所					
基本方針	01	住宅・宅地の整備を推進する		新規継続区分	新規事業					
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業					
施策				自由区分3	棚卸し未実施					
根拠法令										
構成予算事業			会計	款	項	目				
510457	菟原下定住促進住宅用地整備事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者 :)							
補助金			(補助先 :)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			平成12年6月に買い取った大松機業の工場等の老朽化に伴い、部材が周囲に飛散するなど危険な状態になっている。 既存建物の解体撤去を行い、跡地は定住促進住宅用地として分譲する。							
対象 (誰・何を対象に)			市民							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			平成26年度～28年度を事業期間とし、詳細設計、建物解体工事、住宅用地整備工事等を行い平成28年度末には分譲を進めていく。							
関連事業 (同一目的事業等)										

コスト	A	工事請負費	千円	平成28年度	17,114	平成27年度	16,740	平成26年度	0	平成25年度	0
		委託料	千円	300	5,121	3,103	0	0			
		報酬	千円	0	0	0	0	0			
		給料	千円	0	0	0	0	0			
		職員手当等	千円	0	0	0	0	0			
		共済費	千円	0	0	0	0	0			
		災害補償費	千円	0	0	0	0	0			
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0	0			
		賃金	千円	0	0	0	0	0			
		その他	千円	3,500	0	434	0	0			
小計	千円	20,914	21,861	3,537	0	0					
B	人件費	千円	0	1,047	1,513	0	0				
総事業費(A+B)		千円	20,914	22,908	5,050	0	0				
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0					
	府支出金	千円	0	0	0	0					
	国・府支出金 コメント										
	地方債	千円	0	0	3,100	0					
	その他特財	千円	0	49	0	0					
地方債・その他特財 コメント											
一般財源		千円	20,914	22,859	1,950	0					

計画事業評価表

計画事業		菟原下定住促進住宅用地整備事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績	工事着手	目標	造成工事	建物解体撤去 造成	建物解体撤去工事	
		実績		建物解体完了	未着手	
		単位コスト				
	委託業務の発注完了	目標	登記	詳細設計、登記	機材撤去、詳細設計	
		実績		詳細設計完了	機材撤去完了	
		単位コスト				
	目標					
	実績					
	単位コスト					
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	進捗率	目標	100	100	100	
		実績	%	50	0	
	進捗率	目標	100	100	100	
		実績	%	80	50	
	目標					
	実績					

事項	担当課評価																																	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	旧三和町が平成12年6月に買い取った工場等の老朽化に伴い、部材が周囲に飛散するなどの危険があるため、建物を解体撤去する。																																	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	地元からは定住に結びつく整備の要望もあり、跡地を整備し、三和地域の定住促進住宅用地として分譲することにより、人口の減少を食い止める。																																	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	過疎対策債を財源とし、定住促進住宅用地の開発をすすめることで、三和地域の活性化につなげる。																																	
コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																	
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×			×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						B 改善(事業の進め方等に改善が必要) 平成28年度に造成工事等の完了し、その後は定住促進に向けた用地販売をおこなうため、内外に向けた広報等の情報発信やPRが必要となる。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×			×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000138	三和支所災害対策事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度			担当部名	地域振興部			
基本理念	65	消防・救急・防災対策の強化				担当課	三和支所			
基本方針	01	災害に対する危機対応力を強化する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	H28棚卸し(非公開)			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
550169	三和支所災害対策事業	01	一般会計	09	消防費	01	消防費	05	災害対策費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
実施方法		直接実施								
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
実施方法		補助金 (補助先:)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		災害時の円滑な対応で住民サービスの向上を図る。								
対象 (誰・何を対象に)		市民								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		三和支所庁舎に設置している防災物品等の管理経費を計上 需用費 消耗品費(55,840円) 役務費 手数料(139,640円)								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	役務費	千円	0	140	0	0
		需用費	千円	44	56	50	31
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	36
	小計	千円	44	196	50	67	
	B	人件費	千円	0	2,706	1,607	3,026
	総事業費(A+B)	千円	44	2,902	1,657	3,093	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財 コメント	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	44	2,902	1,657	3,093	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000138 三和支所災害対策事業					
事業実績と成果	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	資機材の点検回数	目標	回	6	6	6	6
		実績			4	4	4
		単位コスト			12.500	12.500	16.750
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標					
		実績					
		単位コスト					
成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	災害情報件数	目標	件	0	0	0	
		実績		32	81	110	
	資機材を使用し対応した災害回数	目標	回	0	0	0	
		実績		3	3	4	
	目標						
実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		防災資材の充実を図り、非常時に備える取り組みを継続する。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		災害時には、防災資材を把握し整備することで有効に活用できる。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		日ごろから備蓄している資機材の点検を行い、買い換える、補充するなどを行うことで即効性が発揮でき、効率性は高まる。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 防災資材の充実を図り、非常時に備える取り組みを継続する。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			